

「当院における根治的前立腺全摘術後の放射線治療の治療成績に関する研究」へのご協力のお願い

1. 研究の目的と意義

当院では、患者さんの診療とともに、診療の向上を目指す研究を行っています。限局性前立腺癌に対する根治的前立腺全摘術後には、一定の頻度で再発が生じます。再発後の適切な治療により治癒を目指すことができます。全摘術後の放射線治療は再発症例に対する重要な選択肢の一つです。しかし、適切な治療開始時期やどのような患者さんに適応があるのかなど、依然不明な点が多いのが現状です。今回、当院における前立腺全摘術後の放射線治療の現状を把握するため、その治療成績と副作用について、後ろ向きに調査する臨床研究を計画しました。

2. 研究の方法

この研究では、2009年1月から2018年6月までに当院にて前立腺全摘術後に放射線治療を受けた前立腺癌の患者さんを対象とします。診療録より、臨床所見、臨床病期、治療歴、治療効果、有害事象、治療転帰などの臨床情報を後ろ向きに調査します。これまでの診療情報を用いる調査ですので、患者さんへの負担はありません。

研究結果は、対象となった患者さんの診療には利用しませんので、ご本人にお伝えすることはありません。研究は2020年3月まで行い、終了後は収集したデータを適切に廃棄します。

3. 個人データとプライバシーの保護について

対象となる患者さんのデータは、個人が同定できないように匿名化して管理し、個人情報を保護します。また研究成果は学会発表や学術雑誌に公表しますが、その際も個人を特定できないようにします。

この研究への協力を希望しない方は、主治医または下記にその旨をご相談ください。その場合でも、今後の診療には何の影響もありません。

連絡先 群馬県立がんセンター 泌尿器科 電話：0276-38-0771
研究責任者 蓮見 勝